

平成27年度 宝塚市自立支援協議会 第2回 全体会 議事概要報告

日 時：平成28年3月22日（木） 午後1時30分～午後4時

場 所：総合福祉センター 大ホール

出席者：20名

1 開会

2 会長挨拶 宝塚市自立支援協議会 会長

3 「第一部」

議題 専門部会活動報告結果について

(1) けんり・くらし部会<地域医療Gr>

「障がいがあっても安心して地域で医療が受けられる体制づくり」を目指して主に3つの大きな課題について協議してきた。

① 「医療用絵カード」と「受診サポート手帳」について

育成会で試行的に使ってもらうことにしたが現状はあまり活用がされていない。今後、広報でも周知していく。

② 18歳以降の重度の肢体障がいの方のリハビリについて

18歳以上になると市内にリハビリを受ける機会も場も不足している。体の硬縮を防ぐためにも継続してリハビリを受ける必要がある。

③ 精神障がいの方の医療の課題について

保健医療福祉連携推進会議を立ち上げ複数の支援者でケースの情報共有と社会資源の検討も行っていく。

(2) けんり・くらし部会<地域移行Gr>

地域移行希望者に対する追跡調査を行った。その結果、本人自らは地域移行のニーズを発信がしにくいことや支援者がニーズをくみ取ることができていない可能性があること、本人・家族への情報提供のあり方に課題があることがわかった。

今後の取り組みとして、①本人・家族へのアプローチ、②施設・病院の取り組み
③地域の受け皿の問題が考えられる

(3) しごと部会

福祉事業所合同説明会・雇用啓発セミナーを開催し、共同受注窓口設置に向けた、勉強会を実施。

「働く障がい者の啓発」を行うことで「障がい者の実習機会の確保」を実現するための具体的な活動として取り組んできた。来年度は「障害者の実習先確保」を

実現化するための方法を協議していきたい。

(4) こども部会

教育と福祉の連携を議題の中心としてきた。連携の要になりえる計画相談支援を教育分野で認識してもらうことで連携体制が円滑に構築できるだろうと考える。

また、「たからっ子ノート」の見直しについてはワーキンググループを立ち上げ、「書き方」や「使い方」に焦点をあて議論していく。

通学保障に関しては、取り組みの中心となる機関を明確にし風化を防ぎたい。

きょうだい児支援については、アンケート結果の取り扱いについて次年度で検討していく。

4 「第二部」

障害者差別解消法について

「宝塚市障害者差別解消支援地域協議会の設置について」

5 閉会挨拶 自立支援協議会 副会長